



雄物川 上流



No.208 発行日 平成23年11月30日
国土交通省 東北地方整備局
湯沢河川国道事務所 十字字出張所
〒019-0522
横手市十字町字西上38-3
TEL 0182-42-0109
FAX 0182-42-2881

緊急時における オイルフェンス設置訓練実施 ～出川河川公園(大仙市藤木)～

11月18日(金)大仙市藤木の出川河川公園で、油流出事故を想定したオイルフェンスの設置訓練が行われました。

訓練は毎年寒くなり暖房などで灯油の使用が増えるこの時期に行っています。

今回の訓練では、県や市町村の担当者をはじめ、広域市町村圏組合消防本部の消防署員など54名が訓練に参加し、オイルフェンスの使い方などを再確認しました。また河川に限らず、道路上での油の処理の方法などについても訓練しました。

油流出事故はちょっとした不注意で起こることが多いのです。事故を起こすと、油の回収、処理にかかった費用**1缶当たり約50万円が全て、原因者が支払うこと**になりますので日頃からご注意をお願いします。

道路上での油処理の仕方を確認している様子



実際にオイルフェンスを設置している様子



※オイルフェンスとは事故や過失によって油が河川や水路に流出した際に、せき止めたり回収する事に使用される道具のことです。

危険! ホームタンクの取扱いにはご注意を!

今年も暖房を使う季節となりました。毎年冬期間の暖房使用に伴う油漏れ事故が発生しております。その原因として暖房器具に給油した際、ちょっと目を離したことによる人的ミスによる発生が大半を占めています。

毎年、油流出事故が起きています。皆さんひとりひとりが気をつけることで、油漏れ事故を防ぐことができます。

油の流出事故が多発しています!

最近、一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから、灯油などの油類が漏れ出し、河川などに流れ出す事故が増えていきます。そして、その多くが人的ミスによるものです。

油1缶 50万円!!

事故を起こすと油の回収・処理に**約50万円**の費用がかかります。そして、その費用は事故を起こした**原因者**が責任を持って負担しなければなりません。

- その場を離れない・目を離さない
- ホームタンクが空になったら給油を必ずする
- 配管からの滴漏や腐蝕時に給油を止める
- 配管からの滴漏や腐蝕時に給油を止める
- 給油の場所には目印を
- 給油の場所を必ず確認し、給油の場所がわからなくなるとすぐに担当者に連絡を
- 定期点検を受ける
- 配管やホームタンクの定期点検を受ける

事故を起こした場合または発見した場合は、お近くの国や県の建設、市町村役場、消防署、警察署等へご連絡ください。

雄物川水系水質汚濁対策連絡協議会 上流支隊 事務局/国土交通省 湯沢河川国道事務所 十字字出張所 TEL 0183-70-5340

油の回収・処理にかかる費用(1缶で約50万円)は、油を流した原因者が支払うことになります!!

油事故を起こした場合や発見した場合は、お近くの消防署・警察署・市町村役場や十字字出張所までご連絡下さい。

不法投棄撤去作業を実施!

前号でも紹介した十字字大橋の下に不法投棄されたゴミの撤去作業を、去る10月25日(火)に行いました。湯沢保健所、湯沢市、住民の方など63名が集まり、一緒に作業しました。

不法投棄された大量の木材とトタンの他にも自転車などの家庭から出たゴミなどがたくさん捨てられていました。あまりの大量のゴミに重機も使って撤去し、不法投棄されたゴミを乗せたトラックは、あっという間に山積みになってしまいました。ゴミの量はトラック6台分になりました。

不法投棄は犯罪です。法律で罰せられます。

絶対に不法投棄をしないで下さい。

撤去作業の様子

